

令和元年10月1日(火) 発行



# 高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会  
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



空手道部



アーチェリー部

南部九州総体  
2019

フェンシング部



2019  
Japan Cup

ペップアーツ部



バドントワリグ部



文芸部

2019  
さが総文



放送部

第84号  
2019・10

## 挨拶



父母の会会長  
小野里 誠

令和元年度、父母の会会長という大役を仰せつかりました小野里と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。明治三十九年に開学してから、大正、昭和、平成、そして令和と続きます、伝統ある高崎商科大学附属高等学校の父母の会会長ということで、大変身の引き締まる思いです。校長先生はじめ教職員の皆さま、父母の会新役員の皆さん、そして父母の会会員の皆さまのご協力をいただきながら、会則にあるよう「教育の充実と発展に貢献」していきたいと思ひます。

意見交換がなされ、保護者同士はもちろん、先生方とも顔を合わせることでできる貴重な機会を有意義に過ごせたのではないでしょうか。このような機会に得た情報等を、先生、保護者で共有することで、子ども達の高校生活がより良いものとなることを期待したいと思ひます。そして十月には、二年に一度のスポーツ祭が、数々のイベントや大会等が開催されている高崎アリーナで開催されます。二年前初めて見たときには、各クラスが一体となり会場全体を盛り上げていましたので、みなさん足を運んでみてはいかがでしょう。三年生はいよいよ自分で進路が決める大切な時期になってきました。私たち保護者も全力でサポートできるよう先生方と協力して、目標達成に向けて全力で応援していきたいましよう。

最後にになりましたが、商大附高の益々の御発展と、父母の会会員の皆さまの御多幸をご祈念申し上げます、言葉整いませんが挨拶とさせていただきます。

一年間よろしくお願ひ申し上げます。

## 挨拶



校長  
高橋 洋一

父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。去る五月十八日に開催されました令和元年度父母の会総会では役員改選が行われました。これまで本校教育の充実と発展にご尽力くださいました生沼旧父母の会会長様を始めとした旧三学年の役員の皆様方には、三年間大変お世話になりました。衷心より感謝申し上げます。また新たに役員を引き受けてくださいました小野里新会長様を始めとした新役員の皆様方には、今年度いろいろとお世話になります。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

私からは、一学期の近況についてお話ししたいと思います。まず、新入生についてですが、この四月には四百五十九名が入学致しました。お蔭様で令和元年度が近年では最も多の千四百十四名、四十クラスで始めることができましたことは、受験生や保護者から、本校の教育に対して、信頼と期待を寄せていただいた結果と考えております。教職員一同は、それに応えるべく、教育に取り組む決意を新たにしております。また、施設設備面では、今年の三月末で新しい武道館が完成し、部活動を始めて体育の授業や、学年集会等で使用が可能になっております。

また、新しい教育体制としては、今年から、本校は「ユネスコスクール」加盟に向けて、チャレンジ期間に入っています。これは、次期学習指導要領においては、地域と連携した教育課程の編成が求められておりますし、本校の校歌にも「高崎の空は、世界に続く」とあるように、外に、社会に、世界に目を向けることの重要性が歌われています。そこで、本校としては、ユネスコスクールの提唱する「持続可能な開発のための教育」ESDを通して、二〇三〇年までに実現をめざす「一七の持続可能な開発目標」SDGsを意識した授業を、すべての教科・科目において、どこかの単元で実践してもらうよう、先



生方をお願いしましたので、生徒には、社会の課題について考えてもらう機会が提供されてゆきます。そして、そこで得た学びは、今年度から全学年を対象に導入された教育支援システム「クラッシー」の中にあるポर्टフォリオに蓄積し、生徒一人ひとりの学びを可視化、「見える化」することにより、学びに向かう力を育て、最終的に進路達成に生かしてまいります。

また、部活動関係では、五月半ばに行われた県高校総体で、本校は四つの競技が優勝し、七つの競技が関東大会出場を決めました。

特に、空手道部女子は二十九連覇を達成し、三十連覇に王手をかけました。アーチェリー部男子は十三連覇、女子は二十三回目の優勝を果たし、フェンシング部女子も十一連覇、三十一回目の優勝を成し遂げ、県代表になりました。

また、夏の高校野球群馬大会では、ご存じのように本校の野球部選手諸君は、第一回戦前高戦で一對〇、第二回戦健大高崎戦で九対七、そして第三回戦前橋南戦では五対〇で、それぞれ勝利し、第四回戦準々決勝にコマを進め、閑学大附と対戦しました。延長十回

最後まで諦めずに攻めましたが一対二で惜敗となり、その結果、夏の大会ではベスト八という本校野球部史上最高の結果を残し野球部の歴史を塗り替えてくれました。四つの試合を通して、選手たちは多くの人に希望と感動を与えてくれたことは、間違いありません。特に第二シードの健大高崎を破ったことで、商大附野球部ここにありという存在を示してくれたことは大変誇らしく思います。これからも皆の記憶に残ることでしよう。選手諸君、沢山の感動をありがとう。お疲れ様でした。そして後輩の皆さんは、先輩の躍進に続くよう頑張ってください。

また、今年の夏休みは、七月下旬にようやく梅雨が明けてその後、「猛暑」「熱帯夜」の続く日々となりましたが、八月の夏のインターハイには、フェンシング（鹿児島県）、アーチェリー（熊本県）、空手道（沖縄県）がそれぞれの競技で男女団体と個人で出場し、アーチェリー競技で羽鳥真菜さんが第五位に入賞してくれました。出場した選手は皆それぞれがベストを尽くしてくれたことと思います。ご苦労様でした。今後、団体へも、いくつかの部活

動が出場することになりますので、父母の会会員の皆様には、応援を宜しくお願い申し上げます。

また、夏休み中には、さまざまな教育活動が展開されました。総合ビジネス科では、二年生対象のインターンシップ、一年生対象の商大見学会、ホールAプロジェクトの行事である日簿筆記一級取得を目指す夏合宿「簿記坂セミナー」が今年も開催されました。特選・特進・国際コースでは、水上において三泊四日の勉強合宿を実施し、学力の向上を図りました。また、二年生は、情操力の向上を目指して四季劇場でミュージカル「アラジン」の観劇を四回に分けて実施し、また、国際力の向上を図るべくシアトルの海外研修に二年生から二十四名が参加致しました。また、「エンパワーメントプログラム」や「ベトナムショートステイプログラム」も実施されました。昨年度に続いて良い取り組みとなったように思います。参加者それぞれが「主体性」を育む良い経験をし、人間的に一回りも二回りも大きく成長し、今後の取り組みに向けて大いに刺激になったことと思います。生徒諸君には、どうぞ、これら様々な行事を

しっかりと振り返り、そこから得たたくさん学びをクラッシーに記録してゆくことをお願い致します。

さて、二学期も九月二日に始業式を終えました。十月には、二学期の最大行事である、「スポーツ祭」が、高崎アリーナにて十月三日、四日の二日間にわたって開催されます。生徒諸君には、この行事を通してクラスメートを始め、科コースや部活動の仲間との団結を図る機会としてください。また、父母の皆様におかれましては、どうぞ高崎アリーナまで足を運んでいただき、生徒の活躍を直に見て励ましていただければ幸いです。

最後になりますが、父母の会会員の皆様には、どうぞ、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。会員の皆様一人一人のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

学年委員長挨拶

三学年委員長 古井戸 克司

今年度、三学年委員長を務めさ

せていただいています古井戸です。宜しく願います。

三年生にとっては、これから卒業までの期間が、将来の夢や希望に向って具体的に行動することになります。まずは、しっかりとした目標を持つことが、行動する上の前提となります。人は、主体的な目標を持つことによって、努力することが出来ます。努力することで自信が生まれます。その自信をもとに、目標に向かっての対策が出来ると思います。そして、さまざまな体験を通じて、夢や希望を実現させてもらいたいです。

私達、父母としては、子供たちが、それぞれの目標に向けての活動を、応援すること、環境を整えてやるのが、役目であると思います。子供達と父母、そして教職員と、共に、笑い、悩みながら、充実した高校生活を送ってもらうことが、三年生にとっては、将来のかけがえのない財産になることでしょう。

まずは、体調に気をつけること、健康第一で、三年生も私達父母もがんばっていきましよう。

## 二学年委員長 細谷 武司

昨年に引き続き学年委員長を務めさせて頂きます細谷です。昨年度は皆様のお力添えにより全ての行事が滞りなく進みましたこと、心より感謝・御礼申し上げます。

さていよいよ子供達は一年間の高校生活を経て二学年に進級し、部活動・委員会活動・様々な行事で中心的な存在として活動していかなくてはなりません。しかし一方で、自分は将来何を目指すのか？卒業後は進学かあるいは就職かと具体的に選択をしなければならぬ時期かと思えます。特に今現在の社会を見ますと少子高齢化の波の中、就学・就労に関わる問題や雇用形態の多様化などにより、若者の離職率の増加等子供達を取り巻く社会環境が大きく変化し、価値観も多様化しています。この様な大変厳しい状況の中で未来を担う子供達が豊かな社会性と優れた想像力を養い、自ら責任を持って行動出来る人間として成長していく事は、すべての人の共通の願いです。そのためには子供達の生活の場である家庭・学校・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、子供達

が意欲を持って生き生きと充実した生活を送るように支援する必要があります。私の想いとしては、先生方の「教え」と私たち親の「育み」により、子供達の成長を助けたい、そのために父母の会の場を、先生方と保護者、また保護者同士の交流の場として、情報交換や意見交換を行っていただければと思います。また、子供達を健全に育む教育の環境改善と維持に助力して行きたいと考えております。

最後になりますが会員の皆様の積極的なご参加と、様々な機会に素直なご意見や考えをお聞かせいただくことをお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 一学年委員長 若林 啓友

今年度より、一学年委員長を務めさせて頂きたく思います若林と申します。宜しくお願ひ申し上げます。

I Tの発達、二十四時間社会の到来は社会環境の急激な変化により、子供たちを取り巻く環境は大人の影響をとっても受けやすく、大人社会のモラル低下も大きな問題です。このような時期、父母の会として、また親としての存在が問

われているように思います。「勝ち組」「負け組」に色分けされる社会の中で、一人ひとりが「夢」を追う事が非常に困難な社会になりつつあります。

しかし、高校生活では、友人・先生・親と共に助け合い、励まし合って、一段ずつ階段をのぼる子供たちがいます。今何を悩み、何を望んでいるのか、望んでいる事を親としてどう理解していくのかなど、父母の会を通して情報を共有しながら、夢を抱く事が出来ないものでしょうか。

少子化時代にあつて、父母の会で活動した事が、子供の成長の中での思い出の一つと感じられる活動となるようにしていきたいと思ひます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 出席者感想

普通科特選三年 青柳 樹

子どもの入学から、三回目の夏を迎え、親子ともども現実のものとして目の前の進路を見据えなければならぬ時期ですが、この夕

イミングでの学年・学級懇談会は、進路についての考えをまとめていく意味でも、有難いものでした。

学年懇談会の進路講演会では、所謂「オープンキャンパス」の活用について、参加の際の着眼点など変化のある視点からの話しを興味深く聞くことができました。

場所を教室に移しての学級懇談会では、クラス全体の雰囲気や、進学に関する取り組み等についての説明のほか、今後に向けて家庭と子ども達、それぞれに望まれる夏以降の過ごし方の話しを伺うことができました。

全体を通して感じられたのは、学校を学習の拠点としつつ、外部の講座や模試なども採り入れることができれば、学習に対するモチベーションの維持向上に確かに効果的だろうということ、そういった雰囲気を上手く家庭で創り出していくことができるのか、という若干の不安でした。

しかし他の保護者の方々の話しを伺ううちに、子どもとコミュニケーションを取りつつやっていた方がいいのかなと、前向きに思えてきました。

最終学年となつて間もなくその

半分を終えようとしている段階ですが、折に触れて適切な助言・指導をしてくださっている先生方のおかげで、子どもも入学以来充実した高校生活を送れているようです。改めて感謝するとともに、次の進路に向けて悔いの残らないよう、家庭から環境を整えたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 普通科進学三年 津久井 徳之

早いもので最終学年となり三回目の学年・学級懇談会となりました。

一・二年時とは異なり参加された親達も子供達の進路決定に直面し緊張した雰囲気でした。

第一部では、講師の先生から最近の社会情勢や景気動向等、子供達の進路への影響等、細かく説明していただきました。

講師の先生の実体験を交え、不安を取り除きながらのトーク術で聞いていた親達も少しずつ和やかなムードになりました。

まずは子供達の目標・夢を実現出来る様な環境作りが大切であると再認識しました。

第二部の学級懇談会も三回目の

参加となり学年統一テーマである「進路達成に向けて」について、担任の先生から説明を受けました。

クラスでの子供の様子や雰囲気等、聞く事が出来集中して学習出来ている事が判り安心しました。

班に分かれての懇談の際には、家での子供達の様子等、積極的に意見交換する事が出来ました。

家であまり会話が無い等、子供達の気持ちを確認する事が少なくなっているとの意見もありましたが、今回の懇談会后子供達と話をするきっかけが出来たと思っております。

最後に、日々親身になって下さる諸先生方に感謝申し上げ、子供達の夢の実現の為に残された高校生活を有意義に過して欲しいと願っています。

### 総合ビジネス科三年 桂川 淳

この学年・学級懇談会は、クラスの様子や学校での生活態度など見えない部分の話を先生から伺うことができ、他の保護者との顔合わせや情報交換、情報共有ができた場であり、とても貴重な機会をいただき感謝申し上げます。

三年生になりよいよ卒業後の進路について具体的に決める時期になりました。懇談会当日は講師

の先生から単に学力だけでなく、コミュニケーション能力も試されるといった最近の大学入試の傾向についての話がありました。一般入試、指定校推薦、AO入試など様々な受験方法がある中で、入学できそうな大学を探すのではなく将来自分が何をしたいのか、何を目指すのかを明確にし、しっかりと目標を持って進学してもらいたい、そのために親としてサポートしていきたいと思っております。

### 普通科特進二年 唐澤 美香

第一部では、大学・短大に関する進路講演会に参加しました。大学習験方法が変化してきているなか、早い段階での進路決定が大切になってきています。子供と、なりたい自分はないか、将来の夢は何かをよく話し合い、早い段階で目標・計画を立てていく必要があると実感しました。第二部学級懇談会では、進路達成について考え、話し合うことができました。各家庭での様子も伺うことができ情報

交換を行うことが出来たように思います。担任の先生からは、子供達のクラスでの様子も伺うことができ安心しました。日頃より、子供達のために親身なご配慮を諸先生方に感謝をし、親として希望の進路に進めるようこれからもサポートしていきたいです。

### 普通科進学二年 小倉 ちはる

六月三十日、学年・学級懇談会に参加させていただきました。

今年は「進路実現に向けて」ということで一年の時に対し、より一層テーマが現実的なものになり、卒業後の進路を意識したものに変わりました。

第一部の進路講演会では、希望進路別に分かれ講演会が行われ、私は専門学校についての講演に参加しました。講演では専門学校を選ぶポイントなど分かりやすくお話をいただきました。進路選択で後悔しないよう二年のこの時期から進路を考え学校訪問を重ねて、自分にあった学校を選ぶことが大切だと改めて痛感しました。第二部の学級懇談会ではグループに分かれて子供達の生活につい

て意見交換を行い、保護者の方々と有意義な時間を過ごすことができました。

このような機会を設けていただき感謝し、お礼申し上げます。

### 総合ビジネス科二年 林 和弘

高校に入学して一年が過ぎ、二年の夏を迎える時期になりました。そろそろ卒業後の進路について考え始める時期です。全体の講演会は、進路別に分かれて今現在進むであろう進路先について話が聞けました。進学などには未だ一年以上ありますが、今から色々と考えていかななくてはならないことを痛感しました。その中で、進路決定は子供本人に任せず、親も一緒に情報収集をして日常生活の中でコミュニケーションを取りながら考えていく事が大事です。第二部の学級懇談会では、先生に学校生活の一部をスライドで見せて頂き、自宅では見れない子供の顔が見れてとても安心しました。また、二年は来年には台湾旅行も控えているので、旅行会社の方からの説明もありました。普段、生徒の保護者とお会いする機会が

無く情報交換等も出来ません。こういった学級懇談会はとても有意義だと思います。

### 普通科特進一年前 田里 恵

講堂での学年会。まずは新大入試の説明。●思考・判断・表現力を問う記述問題 ●英語4技能検定重視 ●主体性重視で、知識だけでなく、主体性の多面的・総合的育成が必要です。学校ではクワッシーを情報ツールだけでなく、生徒の目標達成の為自ら考え、成長・変化を認識し、行動する力の育成に役立ててくださるそうです。夏休みはSNS、生活習慣・学習面への注意がありました。先生方が生徒の小さな変化に気付き見守り声掛けを大事にしていると聞き、とても安心しました。

教室での学級会では担任のお話と班懇談。担任はクラスの長所も短所も認め、各々を尊重し、最大のサポーターでいてくださり、保護者の皆様は、子供との距離感を大事に向き合おうとする素敵な方ばかりでした。この商大附での三年間。大いに楽しみ成長してくれ、ことを願っています。

### 普通科進学一年 加藤 容子

七月七日に、学年、学級懇談会が行われました。学年懇談会では、生徒指導、進学指導などのお話を聞く事ができ、その中で大学受験の仕方が変わるというお話を初めて聞き、とても驚きました。まだ一年生ですが、今後の進路の事を考え、行動しなければならぬという事を改めて感じました。

学級懇談会では、担任の先生から、クラスの様子、学習状況、進路選択、クワッシーの活用の仕方などのお話がありました。クラス男女ともに仲が良く、雰囲気も良く聞き安心しました。クワッシーを使って先生とコミュニケーションをとっている事、先生との距離も近くに感じられとてもいい事だなと思いました。グループごとの話し合いでは、多くの家庭でスマホの使い方が心配、という声があり、各家庭でのルールなどの情報や意見交換ができ、有意義な時間を過ごせました。最後に、赤城研修の様子や普段のクラスの様子などの写真をスライドショーで見せて頂き、そこに生徒たちの笑顔がたくさんあり、楽しく過ごして

いる姿が見られました。これから  
の高校生活も楽しみます。

総合ビジネス科一年 永井雅夫

七月七日、学級懇談会が行われ  
ました。一時間半の限られた中で、  
授業風景や赤城研修のスライド写  
真を見せていただき楽しく学校生  
活を送る様子が伺えました。また、  
「親子のコミュニケーション」を  
題材に各家庭のコミュニケーション  
の取り方を聞き、子どもの機嫌  
で会話量に差があることに共感し  
たり、親子のそれぞれの隙間時  
間にスマホへメッセージを送って  
おくなど参考になることもたくさ  
んありました。そして、日頃の  
小遣いや門限、家での過ごし方の意  
見交換もありました。

最後に、普段仲良くさせてもらっ  
ている子の保護者の方々と挨拶を  
交わしたり、名前プレートの内側  
に子どもから日々の感謝を綴った  
言葉に嬉しくなったり、高校生な  
らではの金欠宣言に納得するも笑  
いが起きたり、子と親のリアルな  
声が聞けた有意義な時間となりま  
した。

群馬県高等学校PTA連合会総会に参加して

令和元年六月七・八日 伊香保 ホテル天坊 参加者17名



等について楽しく、分かりやすく  
教えて頂きました。教育懇談会は、  
残念ながら出席できませんでした  
が、貴重な経験をさせていただき  
ました。

三学年委員長 古井戸 克司

総会は県内の関係者が一同に集  
まる場でありましたが、メインは  
記念講演でした。講師は気象予報  
士の天達武史さんで、親しみやす  
い雰囲気で見聞きやすい講演内容で  
した。

日常、テレビなどから伝えられ  
る情報、今回は気象内容でしたが、  
ただ聞き流していた言葉の意味を  
知ることが出来て、楽しい講演で  
した。情報を伝える側からすると、  
受け取る側の意識、関心などに添  
った伝え方をしなくてはならない  
と思えた講演でした。

普通科三年 笠原 美穂

今回は気象キャスター天達武史  
さんの講演を聞かせて頂き、異常



気象や災害時の備えを詳しく教え  
て頂きました。雷が発生した際、  
外出し建物等、逃げる場所がない  
時にいかに雷から身を守ったらよ  
いのか、とても分かりやすく教え  
て頂き参考になりました。今後、  
天気予報を見る目が変わり、空を  
見るのも楽しみになりました。  
このような機会を頂き本当にあ  
りがとうございました。

二学年委員長 細谷 武司

私が今回の総会・教育懇談会で  
感じたのは「自転車乗車中の高校

父母の会 会長 小野里 誠

総会については、群馬県内の高  
校生の自転車事故が多いことから  
「ぐんま高校生交通安全プロジェ  
クト」として実施していくこと等、  
重要な取組みを行うこと等が分か  
りました。

記念講演では、天気予報の用語

## 父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会 長	小野里 誠 (F3-4)	理 事	清水千賀子 (S2-1)
副会長	古井戸克司 (F3-2)	青 柳 樹 (F3-1)	霞 由美子 (F3-3)
	細谷武司 (F2-9)	高橋 琢己 (F3-6)	間々田美華 (F3-7)
	若林啓友 (S1-2)	津久井徳之 (F3-8)	乾 さおり (F3-9)
書 記	笠原美穂 (F3-12)	齋藤 雅 (F3-10)	岡田将彰 (S3-1)
	平澤維久 (F2-11)	桂川 淳 (S3-2)	湯浅ひろみ (S3-3)
	伊勢亀隆一		
会 計	平井 薫 (F3-5)	監 事	大島昭一 (F3-11)
	茂木幸恵 (F2-5)		今井啓子 (F2-5)
	田村真吾		小倉ちはる (F2-8)
理 事	高橋智子 (F2-1)		林 和弘 (S2-2)
	茂木輝章 (F2-2)		飯島英明 (F1-1)
	唐澤美香 (F2-3)		松澤正美 (F1-2)
	人見由紀子 (F2-4)		井堀尊義 (F1-5)
	木暮由紀子 (F2-6)		近藤佐智子 (F1-5)
	石附徳光 (F2-7)		小柏千亜紀 (S1-1)
	高杉直樹 (F2-10)		永井雅夫 (S1-1)

生が関係する事故」において過去五年間における発生状況が増加傾向にあるという事です。とりわけ全国的にみても群馬県は四年連続ワースト1ということには驚かされました。本校に於いてもマナーアップ運動を実施しておりますが、それ以外でも私達保護者ができることを考えていかなければならぬのかなと思えました。

### 普通科二年 茂木幸恵

県高等学校PTA連合会。教育

懇談会が六月七、八日に行われ、高橋校長と本部役員七名で参加させて頂きました。総会において天気予報士の天達武史氏の講演がありました。天達さんは学業卒業後、海の見えるファミリーレストランで働いており、天気次第でお客様の入りの違いから天気に興味を持ち、気象予報士を目指し勉強したとのこと。何か始めたい、勉強したいという気持ち、自分自身の意欲が湧いたときは本気になれると実感しました。

天気のことでは、雷がきたらどうしたら良いか、天気予報での用語の意味など、興味深い話でした。懇親会では、県内高校の先生方、保護者の方々から他校の様子も知ることができました。

## 父母の会総会報告

令和元年度高崎商科大学附属高等学校父母の会、部活動後援会総会が、五月十八日(土)午後二時

より本校講堂にて開催されました。儘田副会長の司会進行、岡田会計による開会宣言で総会が始まりました。生沼会長、高橋校長より挨拶、学園の近況報告がありました。続いて議事に入り、事務局より平成三十年度事業報告、決算報告並びに平井監事より監査報告があり、慎重審議のもと承認されました。次に本部役員の改選が行なわれ令和元年度新会長に小野里誠氏が選出されました。同時に副会長三名以下総勢三十八名の役員が選出、承認され、新体制がスタート致しました。小野里新会長挨拶の後、令和元年度事業計画案、予算案が発表され、原案通り承認されました。

最後に、本会にご尽力頂いた生沼前会長始め、退任された役員の方々に、学校長より感謝状と記念品が贈呈され、退任者挨拶の後、会員の皆様のご協力ももちまして総会が無事終了することができました。ありがとうございました。新年度役員は別記の通りとなります。今年度もどうぞご協力の程よろしくお願い致します。

(書記 笠原美穂)

## 令和元年度 第1回 マナーアップ運動に参加して

6月14日に第1回マナーアップ運動が実施されました。登校時の生徒の安全、公共マナーや挨拶等の向上を図る目的でご父母の協力の下、年3回実施しているものです。参加して頂いたご父母の皆様にご感想を寄せて頂きました。



- 毎回マナーアップ運動に参加させて頂いています。今回は、校門の見守りでした。改めて朝の忙しい時間帯は特に危険だと感じました。元気に挨拶する生徒達と大切な時間を過ごすことができうれしく感じました。(片平 久美子)
- 高校生になり、自転車通学、電車通学になった子供達がどんな風に登校しているのか、危険のないように登校しているのか、様子を見ることができ、親として良い経験ができました。(堀 寿子)
- 校門の前で子供達の様子を見ました。自転車通学の子供は、校門の前で自転車から降りていて、マナーが良く守られていると感じました。元気良く挨拶する子、黙って通り過ぎる子、様々でしたが、概ね挨拶は良くできていると思います。送迎車が大橋キャンパスに入れなくなったことにより、校門前を横切る小学生の安全性も確保できるようになったと思います。(桂川 淳)
- 私は今日4回目のマナーアップ運動参加で、正門で通学状況を見させて頂きました。父母5名で登校してくる子供たちに挨拶しましたが、ほとんどの子供たちが「おはようございます」と返してくれました。正門前の歩道を通る小学生も挨拶してくれますので、良い習慣が身につけている感じがしました。(大島 昭一)
- 子供が自立していく中で、登校の様子や挨拶で少なからずコミュニケーションが取れたことは、貴重な時間となりました。ただ、挨拶しても他人事の生徒がいたことは事実です。これから社会に出て行くわけですから、コミュニケーションツールでもある「挨拶」をしっかり活用して人間関係を築いてほしいと切に願います。感心したことは、生徒一人ひとりが清潔感ある制服の着こなしをしていたことです。そこに「挨拶」がプラスされれば100点と言えるのではないのでしょうか。(永井 雅夫)
- 先日のマナーアップ運動ではお世話になりました。お天気にも恵まれ、気持ちよく挨拶を交わすことができました。三年生の役員は正門前にて生徒の皆さんを出迎える形での挨拶でしたので、より大勢の生徒さんと挨拶を交わすことができました。特に目に留まったことは、自転車通学の生徒さんが正門前できちんと自転車から降りている姿です。やはり徒歩の生徒さんが多い中、狭くなる門を通る時の接触が気になるころでしたが、皆さん自然と校内では自転車を押すという習慣が身に付いていることを見て安心しましたし、気持ちの良いものでした。またこの事を踏まえ、保護者による送迎の車での校内乗り入れが無くなったことも正しいことだったと感じました。今後も生徒さんの登下校の事故防止・改善にマナーアップ運動を通して関わって行きたいと思います。宜しくお願いします。(佐藤 景子)
- いつもお世話になっております。先日のマナーアップ運動は天気に恵まれ何よりでした。こちらから子供達に「お早う」と声をかけると、ほとんどの子から「お早うございます」と返ってきました。自分から元気よく挨拶をしてくる子もいました。残念に思った事は、私の目の前を通る時でさえ、歩きスマホをしていた子が2人いた事です。そのうちの1人は電柱にぶつかり立ち止まった後、再び歩きスマホを始めました。(木暮 由紀子)
- お世話になりました。昨年度もマナーアップ運動に参加させて頂きましたが、今回は子供達から挨拶をしてもらえることが多く、嬉しかったです。(茂木 巳佳)
- 先日は朝早くからマナーアップ運動に参加させて頂きまして、どうもありがとうございます。生徒の登校時の安全確保が第一の目的と存じておりますが、その中においても、生徒の挨拶励行、健康観察を兼ねての登校指導なのだと思います。また、大勢の生徒と接する事により、生徒の欠席の状況や様子を容易に把握できるのではないかと思います。更に地域の人々とふれあうことで学校の教育に対する理解も深まっていくのであろうと思われまます。これからも生徒の為に宜しくお願いいたします。(若林 啓友)



## 父母の会 平成30年度決算報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	16,572,000	16,627,000	△ 55,000	@1,000×16,627人(月平均 約1,386人)
入 会 金	2,725,000	2,725,000	0	@5,000×545人(新入生 545人)
受 取 利 息	3,000	343	2,657	定期預金・普通預金
衛 生 費 収 入	1,396,000	1,394,000	2,000	@1,000×1,394人
前 年 度 繰 越 金	5,024,162	5,024,162	0	普通預金 4,513,857円 現金 510,305円
合 計	25,720,162	25,770,505	△ 50,343	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
備 品 費	1,000,000	997,240	2,760	図書室本棚・製氷機・掃除用具ロッカー
会 議 費	1,300,000	1,137,169	162,831	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	300,000	249,080	50,920	香典・花輪・饌別
補 導 費	50,000	12,298	37,702	情報交換会・校外の生活指導費等
環 境 整 美 費	2,100,000	2,108,084	△ 8,084	清掃用品・ゴミ処理代
保 健 衛 生 費	1,600,000	1,455,235	144,765	汚物処理・保健室薬品代等
旅 費 交 通 費	150,000	114,990	35,010	役員研修交通費等
部 活 動 賛 助 費	3,500,000	3,500,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	600,000	483,180	116,820	メールによる生徒連絡網システム年間管理料、他
消 耗 品 費	30,000	1,824	28,176	コピー用紙等
進 路 対 策 費	1,500,000	1,134,552	365,448	2018年度版大学入試シリーズ・講演会
生 徒 会 事 業 協 力 費	1,500,000	564,154	935,846	芸術鑑賞(群響)・予餞会
卒 業 生 記 念 品 費	240,000	227,556	12,444	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	700,000	544,655	155,345	教職員研修補助
印 刷 費	800,000	624,240	175,760	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,600,000	1,268,171	331,829	車輛燃料代・車輛修理代
諸 会 費	3,200,000	2,876,248	323,752	PTA 連合会費・スポーツ振興センター負担金 高 P 連賠償責任補償
雑 費	200,000	152,244	47,756	大会パンフレット協賛広告料等
車 輛 償 却 引 当 預 金	3,000,000	3,000,000	0	特別寄付金
創 立 120 周 年 事 業 積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	特別寄付金
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[ 予 備 費 ]	300,000	0	300,000	
次 年 度 繰 越 金	50,162	3,319,585	△ 3,269,423	普通預金 2,556,092円 現金 763,493円
合 計	25,720,162	25,770,505	△ 50,343	

※ 環境整美費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

### ※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
車 輛 償 却 引 当 預 金	3,600,000	創 立 120 周 年 記 念 事 業 積 立 金	0
前 期 末 積 立 累 計 額	3,000,000	前 期 積 立 累 計 額	1,000,000
当 期 積 立 額	6,600,000	当 期 積 立 額	1,000,000
合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	6,600,000	合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	1,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長  
 " " 父母の会 会計  
 " " 事務局

## 部活動後援会 平成30年度決算報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	24,858,000	24,940,500	△ 82,500	@1,500×16,627人(月平均 約1,386人)
入 会 金	2,725,000	2,725,000	0	@5,000×545名(新入生 545人)
賛 助 費	4,000,000	4,000,000	0	父母の会 350万円 同窓会 50万円
寄 附 金 収 入	300,000	336,207	△ 36,207	自動販売機売上手数料
受 取 利 息	3,000	590	2,410	定期預金・普通預金
部活動振興基金取崩収入	6,000,000	6,000,000	0	定期預金取崩
前年度繰越預り金	3,653,125	3,381,908	271,217	春高バレー預り預金
前年度繰越金	2,678,358	2,678,358	0	普通預金 1,774,689円 現金 903,669円
合 計	44,217,483	44,062,563	154,920	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
大 会 費	19,000,000	18,419,226	580,774	全国総体(東北地方) 全国総文(宮城) 春高バレー出場
報 償 費	5,700,000	5,461,220	238,780	講師、コーチ等の謝礼
合 宿 費	1,100,000	749,000	351,000	強化合宿・校内合宿補助
備 品 費	2,900,000	2,824,625	75,375	フェンシング部審判器、吹奏楽部バスクラリネット、他
強 化 費	2,900,000	2,627,315	272,685	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉 外 費	200,000	144,716	55,284	大会パンフレット協賛金、他
車 輛 運 営 費	2,400,000	1,906,179	493,821	車輛燃料代、車輛修理費
車 輛 購 入 費	6,000,000	6,000,000	0	H7年登録トラック車輛入替
雑 費	50,000	5,427	44,573	書類等郵送料、事務処理用印鑑代
[ 予 備 費 ]	300,000	0	300,000	
預り金次年度繰越金	3,653,125	3,381,908	271,217	春高バレー預り預金 3,381,908円
次年度繰越金	14,358	2,542,947	△ 2,528,589	普通預金 1,527,281円 現金 1,015,666円
合 計	44,217,483	44,062,563	154,920	

※ 寄附金収入について： 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

## ※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
部活動振興基金	前期末積立累計額 12,500,000	車 輛 償 却 引 当 預 金	前期末積立累計額 0
	当 期 取 崩 額 △ 6,000,000		当 期 取 崩 額 0
合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	6,500,000	合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	0

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 部活動後援会 会長  
 " 部活動後援会 会計  
 " 事 務 局

一年生  
父母が語る

## 我が子に望む 高校生活

普通科特選 飯島英明

入学説明会の時に話しをしてくださった先生は、「高校生活は、卒業後の大学や就職などの通過点です」というような事を言っていました。確かにその通りだと思えます。子供にも本人の希望する進路に行けるように頑張つて欲しいですが、高校の三年間、卒業後の進路にとらわれすぎず、伸び伸びと有意義で中身の濃い学校生活を送つて欲しいと思います。

入学をして、はや一学期が終わりましたが、弱音や不満も言わず元気に通ってくれました。まだ、二年半以上の高校生活が残っています。勉強ももちろん大切ですが、友人関係や部活動、また先生方との関係も大切にして高校を卒業した時に後悔のないよう、何事にも全力で頑張つてほしいと思います。そして、卒業後に本人が希望した進路に進んで、高校生活を振り返った時に、「商大附で良かった、

友達や仲間も最高だった、楽しい高校生活だった」と思えるように、目標や夢に少しずつでも、近づけていけたらと願っています。

普通科特進 松澤正美

入学してから、慌ただしい毎日が過ぎ、あっという間に一学期が終わりました。

高校という、新しい環境になり、いろいろ不安なこともあるでしょう。失敗することもあるかもしれませんが、それでもいい。ただ、それらを恐れることなく、何事にもチャレンジしてみましよう。

今までも、楽しかったことや辛かったこと、そして失敗してしまつたことなど、いろいろな出来事があったと思います。そんな数々のハードルを乗り越えてきたからこそ、今があるのです。自分の力に自信を持って、何事にも取り組んで欲しいです。

高校では、得意な分野を伸ばし、さらに自信をつけ、自分ができることには力を惜しまず行動し、苦手な部分は、先生や友達に教えてもらったりして助けてもらいましょう。一人でできないことでも、お

互いに助け合うことで、よりよい学校生活、よりよい社会生活ができると思います。

一緒にわかり合える友達と、学校生活を楽しく過ごして欲しいです。

普通科特進国際 荻久保 潤

七月に行われた学年懇談会に出席し、先生方の貴重なお話を聞かせていただきました。その中でも特に関心を持ったのが個人の活動記録、ポートフォリオでした。

親としては学力ばかりに目を向けてしまいがちですが、今後の進路に関しては高校生活での諸活動を通して、「思考力」「行動力」「表現力」が重要視されるとの事でした。

自分に関心のある事柄について考え、それに対し自分が出来る事は何かを探し、実際に行動してみよう。そしてその結果を振り返ること。

ポートフォリオにそれらを記録することによって、自身の高校生活の諸活動を振り返ることができ、自分の興味がある事柄を知ることもできますので、進路を

決める上での判断材料にもなりま

す。

日頃より物事をじっくり考える時間を作るのは、日々の勉強、部活等に追われ難しいでしょう。

娘には、揺るぎない将来の夢があります。その夢を実現させる為にも、ポートフォリオを活用して興味、感心事を今よりも深く知って欲しい、そして自分は何をしていきたいのかを相手に伝える力を身につけて欲しいです。

普通科特進 井堀尊義

甲子園を目指す野球部の応援、担任の先生へのベースデーサプライズ、顧問の先生のおもしろいエピソードなど、商大附に入学し多くの人たちと出会い、楽しい日々を過ごす我が子。我が子に望むことは、「高校生活でかけがえのない人たちと出会ってほしい」ということです。先日の野球部の活躍は、全国の高校野球ファンも目を丸くするほど。テレビに釘付けになった応援や高崎城南球場での応援、仲間と声をからしたあの日は、忘れることのない思い出になることでしょう。明るく楽しいクラス

メートと担任の先生の誕生日をお祝い。人を喜ばせようとドキドキしたあの朝も、忘れることのない思い出になるでしょう。勝負にこだわりの仲間とともに切磋琢磨している部活動。ユーモアを交えながらも真剣に向き合ってくださいる顧問の先生や胸を貸してくれた先輩との時間は、忘れることのない思い出になるでしょう。

人間関係を学び「人間力の向上」を目指し、かけがえのない人たちと出会い思い出を重ねて。それが我が子に望むことです。

**総合ビジネス科 山口優子**

入学式後、初めての登校の日、娘はとても緊張した様子で、笑顔は無く、口数も少なく、顔色も良くありませんでした。学校に行くのにこんなに緊張する子がいるのだろうかと思うほどでした。

しかし、新しいお友達ができ、良い雰囲気クラスや先生方のおかげで、毎日元気に登校するようになり、ほっとしています。

高校生活で娘に望むことは、色々な事に挑戦し、その中で自分で決断していく力をつけて欲しいとい

うことです。自分の将来の事を考え、やるべき事を考え、行動にうつして行って欲しいと思います。できないと言わず、やってみて欲しいのです。やってみることで経験できることがたくさんあります。そういう経験一つ一つが自分の自信につながっていきます。

考えても答えの出ない時には、両親、友達、先生方のアドバイスや意見を聞いてみたり、相談してみるのがいいと思います。色々な人の意見を参考にしながら、自分で決めて欲しいのです。自分の決断が良かったと思う事もあれば、そうでない事もあると思います。

しかし、その時の経験は、決して無駄にはなりません。結果の良かった事も、そうでなかった事もすべて自分を成長させてくれる大切な経験なのです。

色々な事に挑戦し、自分で考え決断し、行動していくことを繰り返してやっつけていけば、充実した高校生活だったと、卒業する時に言えるのではないかと思います。

自分の夢の実現のために、努力を惜しむことなく、頑張っていて欲しいと思います。



**特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース**

**一年主任 茂野宏道**

一年生が入学し、ようやく一学期が終わりました。生徒にとっては中学校時代と生活も一変し、行事やテストに追われる多忙な日々だったのではないのでしょうか。ベネッセのスタディーサポートの結果を見ると、例年に劣らず高い学力を持った生徒が多数いる反面、学習面に不安を感じている生徒が七〇%を超えるという結果が出ました。

新しい環境に身を置くということは、期待もありますが、誰しも不安を抱えるものです。このコースでは特に授業についていけないか、という不安を抱える生徒が多いよ

うです。この世代は、センター試験に代わる新学力テストになって二年目の代です。入試の形態も、高校時代の様々な取り組みを重視するなど多様化している流れになってきています。

まだ一年生の生徒にとっては不安も多い高校生活ですが、勉強でも部活でも、課外活動でも、とにかく一生懸命取り組んだ結果が評価される時代でもあります。生徒には何事にも全力で取り組む姿勢を期待します。我々もそのために全力を尽くしたいと思います。

**特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース**

**二年主任 内田由香**

現二年生は、入試制度改革により、大きく変わる大学入試の最初の受験生に該当します。一年生とは違い学校生活にも慣れ、とは言え三年生のように受験が目前に迫っているわけではない、この二年生の一年をどのように過ごしたかは、今後の進路を考える上で、非常に重要になってきます。近年の急速な、そして大きな社会構造の変革の中で、生徒もまた、知識一辺倒

でない、今までは異なる力を求められるようになっていきます。「主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度」が、より積極的に評価されるようになってきているのです。

今年度より、本コースの修学旅行の行き先が、マレーシアへと変わります。過日下見に行つて参りましたが、多様な人々や文化が交錯する、活力にあふれる土地でした。異文化に実際に触れ、また、現地の人々との交流を通じての学びは、生徒に大きな成長をもたらしてくれると期待しています。より深い探究学習を進めていくために、生徒ひとりひとりが主体的に考え、行動し、有意義な体験とすることができるよう努めてほしいと思っています。

### 特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

三年主任 山田智恵

記録的な日照不足から一転、連日体温並みの猛暑が続いた今年の夏、三年生たちは進路達成に向けて動き出しました。三者面談やオープンキャンパスを通して一人ひと

りが自分の目標を確認し、志望校合格に向けて具体的な取り組みをスタートさせたことと思います。AO入試の中には既に始まっているものもあり、ここから推薦入試も本格化し、年明けには最後のゼンター試験が控えています。

進路選択という人生の大きな岐路に立ち、時には自分の選んだ道が正しかったのだろうかと不安になったり、目標に向かって努力しながらも、ふと迷いが生じることもあるかもしれません。そんな時は、この進路達成の山を越えた先に広がる、今まで見たことがない風景を想像してみてください。そこには、自己の限界に挑戦してひと回り大きく成長した自分がいることでしょう。自らの選択を信じ、「目標を達成した自分」をはっきりイメージして、目の前の課題を一つ一つ乗り越えて行きましょう。私たち職員も懸命に伴走したいと思います。

### 一学年進学コース主任

田村章

平成最後そして令和最初の新生として本校に入学し、半年が経

とうとしています。初めての夏休みも終わり、高校生活に慣れることに重点が置かれ自分のペースを作るのに精一杯だった一学期も終わりました。二学期はそれぞれの教科の学習内容も高度になります。受け身の学習から能動的な学習へと変えていかないと成果を上げるのが難しくなります。これからの高校生活をどう過ごすか、よく考えて目標を持って二学期に臨んで欲しいと思います。この夏休みを利用して、自分の進路に向けて考える時間を作ることができましたか？この時期から進路達成に向けて取り組み始めることが大切です。

進学コースは部活動と勉強の両立という目標を掲げております。今年の夏休みも数多くの先輩方が活躍し、立派な成績を残しました。先輩方が引退した後は、今まで以上に部活動への取り組みを積極的にし、半年後に入ってくる後輩の手本になるように行動してほしいと思います。高校時代はあつという間に過ぎてしまいます。時間を無駄にせず、失敗を恐れずに頑張ってください。

一学期の進学コースは在籍二二名のうち、一五九名が皆勤しました。この数は入学してから緊張して生活してきたからかもしれません。二学期は中だるみの時期と言われますが、良い意味で緊張を継続して生活してほしいと思います。心の乱れは服装、頭髪、行動に現れます。高校生らしい清潔な身だしなみを心掛けるようお願いいたします。

### 二学年進学コース主任

井出聖和

平年よりも八日、昨年よりも三十日遅い梅雨明け宣言。それと同じに三十度を超える猛暑日。四十三日間という最近では最も長い、令和最初の夏休みも終わり、三年間の高校生活も折り返し地点に差し掛かりました。

今年度はスポーツ祭の年ということもあり、文化部でも二年生を中心とする新体制に切り替わった部も多いのではないのでしょうか。七月に実施された生徒会役員選挙を受け、生徒会も新体制になりました。二年生が学校の中核を担っていかねばなりません。一人ひとりが、学校を背負って立つという自覚をしっかりと持ち、日々の

学校生活を送って欲しいと考えます。中弛みしている時間はないのです。

また、皆さんが受験する二〇二一年度の大学入試から入試形態が大きく変わります。「知識・技能」を問う形から、「思考力・判断力・表現力」を重視する入試へ変わります。「備えあれば患いなし。」群馬県は、防災意識が低いと言われる。進路達成も防災も普段の備えと、いざという時の迅速な判断と行動が大事です。一年先ではなく、今から万全な備えを心掛けて欲しいと考えます。

### 三学年進学コース主任 菊池弘幸

ふと気がつけば卒業がもうすぐそこに見えてきてしまいそうな時季となりました。そしてまだ少し余裕があると思っていた生徒たちにもあせりの色が見られるようにもなりました。受験生にとってこの夏が勝負であったのは当然の事ですが、その夏も終わってしまい、さてどうしようかと悩んでいるご家庭も多いのではないかと思います。しかし悩んだところでどうい

もならないのも現実である以上、ここは一つ腹をくくって残された時間に全力を注ぎ込むしかありません。

今年の夏も日本の各所で様々な事がありました。水の事故で失われた多くの尊い命、高速道路でのあおり運転、米中間の貿易問題から日韓の間に横たわる歴史問題、天安門を彷彿とさせる香港でのデモ、終戦七十四年そして日航ジャンボ機墜落から三十四年など次から次へと出てくる問題や話題でもちぎりでした。

そんな中、二〇二〇年の東京オリンピックのカウントダウンが始まり、男子シンクロ板飛び込みの寺内・坂井組が最初の代表に内定しました。そして、先日、東京オリンピックで初採用のクライミングで野口選手が代表に決定しました。野口選手は、長年日本のクライミング界を引っ張ってきたベテラン選手で今回選考落ちしたら引退するつもりだったとインタビューで答えていました。また、オリンピックとは別に日本で開催されるラグビーのワールドカップも話題となっています。ラグビーは五輪とは違い代表資格に国籍を条件と

していません。日本の先発メンバー十五人のうち八人は海外出身者が占めており、主将を務めるリーチ・マイケルも父親がニュージーランド、母親がフィジー出身。現在は日本国籍を取得していますが、一〇〇%のニュージーランド人でもなく、フィジー人でも日本人でもないため集団に入り込めず悩んだ時期があったと話しています。そんなリーチ主将は今、多様性を認めるラグビーというスポーツで自らの多様性を強みとして日本選手団を勝利に導こうとしています。スポーツの世界における多様性が政治の世界でも広がりをもっと見せてくれると良いのですが。

### 総合ビジネス科主任 田村彰康

現代社会において、ビジネスシーンは急速に変化しています。このような社会の中でリーダーシップを発揮してチームリーダーとして活躍できるような人材を育成したいと考え、総合ビジネス科ではビジネスで即戦力となる学習内容を授業の中に取り入れる工夫をしています。

具体例として、プレゼンテーション能力の育成・企業PR等、様々なソフトウエアを活用して実際の企業で利用されているビジネスソフトなども基礎から応用まで学習しています。

また、グローバル社会で活躍できる人材の育成として、今年度より修学旅行の行き先も「台湾」に変更しました。台湾の大学生との交流(B&Sプログラム)・台湾清傳高等学校への学校訪問・台湾へ進出した日本企業の担当者による講演会なども予定し海外事情や企業経営のあり方などを学びます。同時に異文化交流なども実施するので、生徒にとってプラスになることが多いと思います。

総合ビジネス科の卒業生が、起業家として社会の第一線で活躍できるような基礎固めをサポートし、生徒が毎日充実した学校生活を送ることができるよう学習内容の検討・科行事の見直しなどを行い時代のニーズに合致したものにしていきたいと思えます。



平成三十年九月に着工した「新武道館」が、平成三十一年三月に完成しました。二階建てで冷暖房が完備され、快適な環境で、体育の授業や部活動を中心に多目的に活用されています。



1 「新武道館」完成

t.s takasaki shodai

# 商大附高 Information

— Topics —

- 1 新武道館
- 2 野球
- 3 新聞部
- 4 海外研修
- 5 ボランティア
- 6 オープンスクール



ベスト8進出 (第101回全国高等学校野球選手権群馬大会) 本校に野球部が創設されて十五年。初のベスト8進出を果たしま

2 野球



新聞部は夏の高校野球選手権大会に向けて野球部の取材を行いました。当日の試合だけではなく、豊岡グラウンドにも行きました。厳しくも真剣な練習姿勢を見て応援したいという気持ちが強くなり、号外という形での新聞発行に至り

3 新聞部 高校野球号外発行



した。創部当初の部員数は三人で練習試合もままならない状況でしたが、今や部員数六十一人となり、活気にあふれた部に成長しました。試合会場には在校生に加え多数の卒業生が応援に駆けつけてくれました。プレーに一喜一憂し、忘れられない夏となりました。



ました。これからも本校生徒の活躍を伝え、学校全体を盛り上げていきたいと思えます。



▲令和元年7月22日 号外



▲令和元年7月21日 号外



▲令和元年7月15日 号外



▲令和元年7月8日 号外



## 4 海外研修

シアトル海外研修



七月十六日～八月六日の三週間、アメリカのシアトルで行われた海外研修に本校二年生二十四名が参加しました。海外研修では、ホームステイ、カナダ・バンクーバーへの旅行、英会話クラス、大リーグ観戦、警察署訪問などさまざまな行事が行われました。



フィリピン マニラ

二〇一九年八月二十日から二十七日の間フィリピンのマニラでストリートチルドレンをはじめとした貧しい子供たちへの学資支援ボランティアに、二年生の長壁さんが参加してきました。フィリピンのゴミ山は強烈な匂いで息をするのも辛かったようですが、たくさんの子供が笑顔で迎えてくれたのを見て、大変嬉しかったそうです。本を読

## 5 ボランティア

ボランティアアクション

IN フィリピン

むだけではわからないフィリピンの温かみや問題点を肌で感じることができ、とてもいい経験になったことでしょう。



## 6 オープンスクール

今年も中学生対象の「商大附オープンスクール」を六月～八月の間に五回行い、中学生・保護者合わせて三十一三人の方々が参加して下さいました。学校説明・学校紹介DVD・部活動発表・体験授業の四部構成からなり、説明や誘導はSSG(商大スクールガイド)と呼ばれるボランティアの生徒が担当しました。部活動発表や体験授業でも運動部・文化部の生徒に協力してもらい、参加者の皆さんからも大好評でした。



商大附  
オープンスクール



編集後記

長梅雨で雨や曇りの日が続き、蒸し蒸しとはっきり

しない7月の夕方、第一回「商大附高だより」編集委員会を開きました。

学校側の編集担当者は今年度新たに担当となった新人である一方、編集委員の皆様は、昨年に続いて引き受けてくださった方々ばかり。作業内容も手順も要領を得ていて、てきぱきと作業を進めてくださり、大いに助けられました。

夏休みを一週間後に控え、作業しながらの話題は自然と一学期の生徒の様子や成績のこととなりましたが、編集委員に野球部員の息子さんを持つ方がいたこと、最も盛り上がったのは、全国高等学校野球選手権群馬大会のことでした。「とにかく落ち着いてプレーしてほしい。」「二回戦はどうだろう。」「相手は初戦だから、こっちの方が有利。」「これまでは関係ない。この一戦に勝てばいいのだから。」などと、すでに熱のこもった応援が始まっていました。そして、野球部は見事激戦を制し優勝候補に勝利した後、ベスト8まで勝ち進み、学校全体に勝利の歓喜と感動を与えてくれました。これ以外にも多数の部活動が全国大会に出場を果たし活躍をしてくれました。また、校内では、運動部・文化部に関わらず多くの生徒が、猛暑と闘いながら練習や作品制作に励んでいました。目標に向かって苦しいことも嬉

しいことも仲間と分かち合い、努力を重ねる姿はまぶしく美しいものです。

そして、彼らの頑張りの裏には、保護者の方々の支えがあることを忘れることはできません。毎日、朝早くからのお弁当作りに食事の用意と大量の洗濯物。大会や練習試合では送迎に応援と、休む暇もなく動きまわり我が子を応援している姿もまた尊く美しいものです。

そんな生徒達や保護者の皆様と喜びや感動を共有できることは、教員であることの大きな幸せであり感謝しています。

社会は日々変化し、解決しなければならない多くの問題を抱え、不安なことばかりが取りざたされますが、目の前にいる生徒たちは、おとなが思う以上に、社会に関心を持ち、自らの将来を真剣に考えているように思われます。情報機器を自在に使いこなす、新しい社会システムを作り出す可能性を秘めているのではないのでしょうか。今後の生徒たちの成長と活躍を楽しみにしたいと思います。

最後になりますが、原稿をお寄せいただきました皆様、またお忙しい中編集作業をお引受けいただきました編集委員の皆様へ、心より感謝を申し上げます。(大澤)

広報編集担当者

新井 幸子 (F3-1) 大塚 直子 (F3-1)  
朝倉 京子 (F3-11) 小林 保世 (F3-11)  
岡田 里 織 (F3-12) 片平久美子 (S3-2)

## 全学年対象「学校評価アンケート」分析結果について（保護者・生徒共に1,369名）

平成30年度末におけるアンケート結果をご報告いたします。本校の教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、満足している生徒は約8割です。高い数字を示していますが、それ以外の生徒も1～2割程度います。さらには「分からない」を示す生徒・保護者もいます。令和の時代となり今後も社会環境も変化してくる中で、生徒・保護者が本校の教育活動の中でさらに高い満足感、達成感を得られるよう生徒・保護者・職員が三位一体となり、目標達成に向け取り組んでいければと思います。

**評価内容**  
 4 … よく当てはまる  
 3 … 当てはまる  
 2 … あまり当てはまらない  
 1 … 全く当てはまらない  
 0 … 分からない

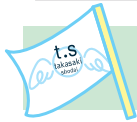
**達成度**  
 A … 十分達成できた  
 B … 達成できた  
 C … もう少しで達成できた  
 D … 達成できなかった

### ● 生徒全体

No.	質 問	4	3	2	1	0	達成度
1	自分は本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している。	29%	54%	12%	1%	4%	A
2	自分は「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	32%	50%	13%	1%	4%	A
3	自分は学習に対して満足感、達成感を持っている。	22%	55%	17%	2%	4%	A
4	自分は意欲的に学習に取り組んでいる。	28%	52%	15%	2%	3%	A
5	自分は家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	19%	23%	35%	20%	3%	B
6	自分は高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	48%	43%	5%	1%	3%	A
7	自分は登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	40%	45%	12%	1%	2%	A
8	自分は、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	50%	33%	12%	4%	1%	B
9	自分は進路指導の行事に積極的に参加している。	26%	40%	25%	4%	5%	B
10	保護者は、生徒の将来の進路志望について理解している。	40%	40%	11%	1%	8%	A
11	自分は進路の適性をよく理解している。	27%	41%	19%	2%	11%	B

### ● 保護者全体

No.	質 問	4	3	2	1	0	達成度
12	子どもは本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している。	27%	55%	11%	2%	5%	A
13	子どもは「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	28%	48%	16%	1%	7%	A
14	子どもは学習に対して満足感、達成感を持っている。	20%	54%	16%	3%	7%	A
15	子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	26%	47%	19%	2%	6%	A
16	子どもは家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	20%	27%	33%	15%	5%	B
17	子どもは高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	45%	47%	6%	1%	1%	A
18	子どもは家庭内で積極的に挨拶をしている。	39%	42%	16%	2%	1%	A
19	子どもは、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	50%	35%	12%	2%	1%	B
20	子どもは進路指導の行事に積極的に参加している。	26%	40%	21%	3%	10%	B
21	子どもの将来の進路志望について自分は理解している。	33%	46%	15%	1%	5%	A
22	子どもは進路の適性をよく理解している。	25%	46%	18%	2%	9%	A



## 高校総体2019 (インターハイ)・全国大会結果

クラブ名	大会名(会場)	期日	成績
空手道部	全国高等学校総合体育大会 (沖縄県 21世紀の森体育館)	8月8日 ~11日	女子個人組手 ベスト16 S3-3 關塚佳代、F2-8 竹内海里 女子団体組手 ベスト16 S3-3 關塚佳代、F2-8 竹内海里、知久瑠璃子、F2-10 平井菜々実、 F1-2 小松香濃、F1-3 首藤悠華、F1-8 野口莉央 男子個人組手 ベスト16 F3-6 萩原創太 男子団体組手 ベスト16 F3-5 平井和真、F3-6 萩原創太、F3-10 大竹玲央、F2-8 小倉大虎、 S2-2 池田怜児、F1-9 加藤大吾、丸山光稀
アーチェリー部	全国高等学校総合体育大会 (熊本県 八代運動公園)	8月7日 ~10日	男子個人 33位 F3-2 齋藤俊介、81位 S3-1 山本 傑、 94位 F3-11 平澤雅也 男子団体 18位 女子個人 5位 F3-11 羽島真菜、66位 F3-6 布施遥香、 137位 F2-8 秋場美早紀 女子団体 18位
フェンシング部	全国高等学校総合体育大会 (鹿児島県霧島市牧園アリーナ)	7月26日 ~30日	男子個人フルール ベスト32 F3-11 光井隆人 女子個人フルール ベスト16 F3-12 岡田梨良 女子個人エペ ベスト32 F2-10 小林叶佳 女子個人サーブル 出場 F3-12 岡田梨良 女子団体 1回戦敗退 男子団体 2回戦敗退
ペッパーツ部	ジャパンカップマーチングバンド・カラーガード・パトントフリング全国大会	8月18日	カラーガード部門 第2位 優秀賞 F3-3 坂口愛依莉、F3-6 山口雛里、牧口瑠夏、F3-7 多胡葵、 F3-12 笠原香穂、F2-4 青山由衣、岩井朱里、F2-5 平柳伶奈、 方柔婷、F2-9 秋山夢叶、F2-10 武井詩歩、高木美羽、 S2-1 田島奈波、S2-2 大竹由真、丸岡玲菜、宮崎優梨、 F1-5 茂木結芽、F1-6 永井莉子、F1-7 安藤怜奈、小川真歩、 金沢秀香、F1-8 野沢友理奈、F1-9 永山香穂、豊島美翔
パトントフリング部	第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会 (佐賀県佐賀市)	7月27日 ~29日	パレード部門 文化連盟賞 F3-1 内田華凧、F3-9 松本望来、F3-11 吉田愛理、 F3-12 入澤朱里、若松さくら、S3-1 高橋玲香、F2-4 中島千月、 人見莉珠、F2-11 後藤あいり、佐々木叶音、佐藤愛歌、中島有彩
	ジャパンカップマーチングバンド・カラーガード・パトントフリング全国大会	8月19日	優秀賞 F3-1 内田華凧、F3-5 新井菜月、F3-9 松本望来、F3-11 吉田愛理、 F3-12 入澤朱里、若松さくら、S3-1 高橋玲香、F2-4 中島千月、 人見莉珠、F2-11 後藤あいり、佐々木叶音、佐藤愛歌、中島有彩
放送部	第66回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会(東京)	7月22日 ~24日	テレビドキュメント部門 準々決勝 ラジオドキュメント部門 準々決勝 テレビドラマ部門 準々決勝 ラジオドラマ部門 準々決勝 出場者 F3-1 大澤菜々、本庄晴果、F3-2 鴫崎絢音、角河礼美、 大山紗也香、田島望結、藤井美紅、F3-3 矢島ももか、 F2-1 小玉真由、F2-2 茂木陽南、大窪菜々子、清水歩未、 高橋郁美
	第43回全国高校総合文化祭佐賀大会 (佐賀県基山町)	7月30日 ~ 8月2日	ビデオメッセージ部門 文化連盟賞 オーディオビクチャー部門 文化連盟賞 出場者 F3-1 大澤菜々、F3-2 藤井美紅、鴫崎絢音、大山紗也香 F2-1 小玉真由、F2-2 清水歩未
文芸部	第43回全国高校総合文化祭佐賀大会(佐賀県伊万里市)	7月29日 ~31日	詩部門 文化連盟賞 F3-4 吉野初夏
	第9回牧水・短歌甲子園 (宮崎県日向市)	8月17日 ・18日	予選リーグ敗退 F1-1 尾関愛未、F1-2 小坂橋彩花、F1-2宮崎海光
	第21回関東地区高校生文芸大会 (群馬大会)	8月20日	詩部門 F3-3 清水透和、F3-4 吉野初夏